

市民説明会（概要）

野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり計画及び滋賀県立高等専門学校整備

日 時：令和 6 年(2024 年) 2 月 2 5 日(日) 10：00～12:00

場 所：コミュニティセンターきたの 2 階 学習室
※会場トラブルのため大ホールから変更となりました。

出席者：市民 2 3 名
滋賀県、公立大学法人滋賀県立大学、国土交通省琵琶湖河川事務所、野洲市

○市長あいさつ

○出席者紹介

○議題 1 滋賀県立高等専門学校について

1 滋賀県立高等専門学校について（滋賀県、公立大学法人滋賀県立大学）

・資料 1 により説明

2 質疑応答

- ① 緑化に努め周囲を植栽することのだが、造成した上で新たに植えるのか、活用できるものは活用するよう工夫するのか。できるだけ現在の木を活用してもらいたい。
 - 北側は一部自然を残しますが、大部分は必要な高低差確保等の関係で造成することとなります。(県立大)
- ② あの場所で近くの子どもが自然に親しんでいる。工事期間中も安全に使用できるよう工夫してもらいたい。できるだけ短い距離でアクセスできるようにしてもらいたい。
 - 具体的には工事業者との相談になりますが、工事中も使用でき、安全にアクセスできるよう検討します。(県立大)
- ③ 工事車両の導線については国道 8 号線からの流入が基本となると思うが、久野部交差点付近の県道の道路工事が遅れていると聞いている。車両通行が増えると思

うので、県道工事とも連携して交通状況に配慮してほしい。

- 県土木交通部とも連携を図りながら進めます。(県)
- ④ 駅からのアクセスについて通学路を整備した方がいい。学生はバイクや車で通学できるのか。
- 通学路は県有地北側につながるよう野洲市で新たな整備を計画していただいています。車・バイク通学は例外を除き、現状は想定していません。(県立大)
- ⑤ 県立高専の年間の授業料についてはどの程度か。
- 授業料は国立高専で年間 24 万円程度です。県立高専は、この額も参考にした上で検討する予定です。(県立大)
- ⑥ 高専は国立がほとんどの中、なぜ県立で創るのか。
- 過去には、国立高専の誘致を目指したこともあると聞いていますが、国立高専はこれ以上増やさないという状況にある中で、産業界等から望まれている高度専門人材の育成を図るため、県立での設置が意思決定されました。全国一律ではなく、地域の実情に応じて、地元産業界や地域の皆様と連携しながら学校づくりをしていけるところに県立のメリットがあると思っています。(県)
- ⑦ 事業者任せにしないとの説明があったが、具体的にどういう対応により事業者任せにしないのか。
- 例えば、工事中に何か問題が起こった際に、住民の皆様への対応を事業者任せにせず、県・県立大学が発注者として対応することを想定しています。(県)
- ⑧ 一般開放もされる予定の図書・交流拠点施設を楽しみにしている。ぜひ食堂売店も一般に開放していただきたい。
- 要望として賜ります。食堂売店を運営する事業者とも相談してまいります。(県立大)
- ⑨ 目の前にあるリサイクル工場との話し合いをしているか。騒音がするが大丈夫なのか。
- 具体的に工場と話をしているわけではありませんが、工場の音については承知しています。当方の整備事業者には周辺環境に配慮した施設整備を求めています。(県立大)

- ⑩ 県有地内にはけやきの大木などもあるが、その周辺や隣の国有地には草原や湿地があり、希少なトンボもいる。それほど難しくないのであれば、国のエリアについても大きな樹木等を残した上で整備するなど、整備の工夫をしてもらいたい。
- 国有地のことは、MIZBE ステーションかわまちづくり計画の説明を聞いていただければと思います。(県)
- ⑪ 調整池を作るのであれば水たまりも維持できるのではないかと思う。
- 調整池は、雨水を一旦溜め、敷地外への排水量を調整するための施設ですが、高専用地については浸透池とし、用地内で雨水を処理しきる方針です。浸透するまで一時的に水が溜まることある程度で、普段は空の池となると想定しています。(県)
- ⑫ 浸透池はいいことだが、現状は、常時ではないが水が溜まる湿地になっているので、維持されるようご配慮いただきたい。
- 環境保全については色々な方と相談しており、必要な対策は取っていく考えです。(県)

○議題 2 野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり計画素案

1 野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり計画素案について (野洲市)

- ・資料 2 により説明

2 質疑応答

- ① すごく楽しみな計画である。ヤスイチなどの自転車を推されているが、利用者が限られる BMX コースとしているのはなぜか。プールや水遊び、動物園など多くの人が集まれる場所になってほしい。
- サイクルパークは、ビワイチで自転車道の整備が進んでいることから、親和性や独自性を出す観点から活用案としてお示ししています。また、MIZBE ステーションは、「水防拠点」としての位置付けがあり、堤防決壊等に備えて緊急復旧用の土を確保するため、土のまま活用できる方法を検討しています。(市)
- ② 10 年程前の台風時に野洲川がかなり増水した。野洲川の堤防はどのような規模を想定しているのか。
- 野洲川放水路(現野洲川)は、100 年に1度起こり得る程度の大きさの降雨を想定して整備され概成しています。本施設は、水害や地震等の災害時には水防団や関係機関の広域的な活動拠点として機能することを想定しています。(市)

- ③ 堤防をウォーキングしているとウグイスやキジ、タヌキやキツネを見る。自然破壊につながるのではないか。
- 環境学習や環境教育に活用いただくことで本施設が環境を保全・創出できる場となるよう、地域で活動されている団体と意見交換を行っています。引き続き、ご意見をいただきながら検討します。(市)
- ④ 全体の事業費と国・県・市それぞれどのような負担割合となるのか。1回5,000人規模のマルシェを想定されているが、駐車場やトイレは整備されるのか。
- 国の基盤整備費につきましても検討いただいているところです。市では水防センター等を整備しますが、維持管理も含めて採算性や持続性を検討したうえで施設と規模を決定します。来年度に全体事業費をお示しできるよう検討を進めます。(市)
- ⑤ 整備範囲が広大であるので維持管理費もかかるのではないか。維持管理費を捻出するために駐車場が有料になるのではないか。
- 運営する事業者が利益を出す仕組みを作ることができれば、市の支出を抑制できると考えています。地域の方々に利用いただくためにも、駐車場が有料とならないような維持管理の仕組みを検討します。(市)
- ⑥ 土木技術研修場は県立高等専門学校の利用に限るのではなく、一般の方も利用できるようにしてほしい。学生に設計・施工・維持管理を行ってもらうことで持続可能なものとはできないか。
- MIZBE ステーション及びかわまちづくりで整備した施設は一般の方が利用できる施設となります。隣接地の県立高等専門学校と地元企業に協力いただき、技術者育成と併せて、高度技術の活用により地域の課題解決を目指したいと考えています。研究を兼ねた維持管理等を模索したいと考えています。(市)
- ⑦ 県立高等専門学校の交流施設と駐車場が離れているので利用しづらい。
- 県立高等専門学校の駐車場の運用方法に関わるため滋賀県と調整が必要です。ご意見として頂戴します。(市)
- ⑧ MIZBE ステーションの出入口はどこになるのか。上流側の管理用道路に出入口を設ける予定はあるか。
- 現時点では、車の出入口は南側のみを想定しています。施設整備計画ができましたら、改めて説明させていただきます。(市)

- ⑨ 夜間、県立高等専門学校建設地の東側道路が暗い。学生や地域の方の安全を考えて街灯を設置してほしい。
- 野洲駅から県立高等専門学校までの通学路については、地元の方に説明しながら概略設計を行っているところです。安全な通学路となるよう整備を進めます。(市)
- ⑩ スポーツパーク、サイクルパーク、広場を所管する部署はどこになるのか。活用する人の思いが強ければ利用者が増えると考え。活用を考えて施設整備を行ってもらいたい。
- MIZBE ステーション及びかわまちづくりの平時の利用及び賑わい創出のためのハード施策やソフト施策の検討並びに施設の整備は、市の河川防災ステーション推進室で実施しています。イベント等の実施につきましては、社会実験等をするなかで関係部署や関係団体と連携しながら持続可能な仕組みを検討します。(市)
- ⑪ MIZBE ステーションは災害時に地域住民が避難できる施設なのか。
- MIZBE ステーションは緊急復旧資材を備蓄・確保する防災拠点としての機能を備えますが、避難所とする場合には食料や毛布の備蓄が必要となります。ご意見を踏まえて施設の機能を検討します。(市)
 - 県立高専の体育館は近隣住民の避難所として市の指定を受ける予定であり、トイレ、シャワー、空調なども備える予定です。(県立大)
- ⑫ 本施設がエリアによって管理者が変わると思われるが、意見や要望する窓口は市に一本化してもらいたい。
- 窓口は市とさせていただき、必要に応じて関係機関に情報提供し、対応を依頼する方向で検討しております。(市)
- ⑬ この計画の作成にあたり参考とした事例があれば教えてほしい。
- 国土交通省の事例集等を参考に、市ならではの MIZBE ステーションとなるよう「かわまちづくり」も合わせて実施することとしました。(市)
 - 県内のかわまちづくりは守山市が最初に実施されています。全国では各自治体の特色を活かして整備されており、事例集を国土交通省の HP に掲載しています。(国)
- ⑭ 近江富士大橋付近の公園と連携した利活用を検討してほしい。
- 本施設を運営していくうえで一体的な活用の可能性についても検討します。(市)

- ⑮ 利用圏域は近隣市町にも及ぶと思うので協議会だけでなく市民や近隣市町など、多くの住民、民間業者等からも意見を聴く場を設けて欲しい。
- 計画どおり本施設を利用いただけるよう、供用開始前からワークショップやフィールドワーク等で多くの方に携わっていただきながら、情報発信や活用方法の意見交換等を行いたいと考えています。なお、守山市との連携も想定されますので守山市とは情報共有を図っています。また、MIZBE ステーションかわまちづくり協議会にもオブザーバーとして守山市に参加いただいています。(市)